

1 時間（場所） 10:00～10:50（2年B組教室）

2 個人研究テーマ

統合的な運用能力を高める言語活動の工夫

3 研究テーマ設定の理由

高度情報化社会において、大量に氾濫する情報の中で、自分にとって必要な情報か必要でない情報かを取捨選択する能力が必要となってくる。また、個性や考え方が異なる他者のことを理解し、意見交換などを通して積極的にコミュニケーションを図り、よりよい関係を築こうとする態度も求められる。外国語教育では、これらの能力を高めるために、スキルの習得だけでなく、習得したスキルを生かし、互いの考えを理解し合い、折り合いをつけながらよりよい関係を築こうとする態度の育成を目指している。また、必要な情報を選び、よりよい人間関係を築こうとする態度は、「持続可能な社会」の形成に必要な資質・能力につながるものであると思われる。

本研究では、リーディングの活動を通して、まとまった英文の内容を理解し、内容について質問したり、要約したり、自分の意見や感想を論理的に述べるような力を付けさせたい。そのためには、聴解力、読解力、作文力、口頭表現力などの統合的な運用能力を高める必要がある。その中でも特に、正確に情報を読み取る読解力、得た内容を要約してアウトプットするための作文力、口頭表現力を重視したい。多様な情報の中から必要な情報を受け取り、理解するとともに、課題を解決することによって、統合的な運用能力を高めることができると考え、本研究テーマを設定した。

4 単元名 Chapter 4 Lesson 8 Manga, Anime and Movies

5 単元目標

○as～as を使った原級比較、副詞の比較級と最上級を使って状態や動作を比べたり、接続詞 if, because を使って、条件や理由を表現したりすることができる。

→ 話すこと（やり取り）①, 話すこと（発表）①, 書くこと① ※「CAN-DO リスト」との対応

○世界における日本のマンガやアニメ、映画の現状を本文から読み取り、日本文化の良さを再認識するとともに、自分の好きなアニメやマンガについて紹介することができる。

→ 話すこと（やり取り）①, 話すこと（発表）①, 書くこと①, 聞くこと, 読むこと①

※「CAN-DO リスト」との対応

〔本質的な問い〕

マンガやアニメ、映画などの日本文化の良さを再認識し、自分の好きなマンガやアニメについて意見交換するためにはどのようにすればよいか。

〔永続的な理解〕

日本文化の良さを再認識するために、まずは、内容を十分に理解する必要がある。日本文化をマンガ、アニメ、映画に絞り、紹介された内容を効率的に読み取ることで、より深くたくさんの内容を理解することができる。

また、読み取った内容を参考にし、紹介したいことを論理的な英文にまとめることによって、テーマに沿った内容で意見交換をすることができる。

「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標（第2学年 Chapter 4）

話すこと(やり取り)	話すこと(発表)	書くこと	聞くこと	読むこと
<p>①自分の好きなアニメやマンガに関するスピーチについて、簡単な英語を用いて感想を述べたり、質疑応答したりすることができる。</p> <p>②自分の大切にしているものに関するスピーチについて、簡単な英語を用いて感想を述べたり、質疑応答したりすることができる。</p>	<p>①自分の好きなアニメやマンガについて、聞き手に特徴や魅力が伝わるようにスピーチをすることができる。</p> <p>②自分の大切にしているものについて、聞き手に特徴や魅力が伝わるようにスピーチをすることができる。</p>	<p>①自分の好きなアニメやマンガについて、自分の気持ちや考えを述べる表現を用いて8文程度のまとまりのある英文で書くことができる。</p> <p>②自分の大切にしているものについて、自分の気持ちや考えを述べる表現を用いて10文程度のまとまりのある英文で書くことができる。</p>	<p>世界遺産や日本文化についての紹介文を聞いて、どこにあるのか、どんな特徴があるのかなどを理解することができる。</p>	<p>①世界遺産や日本のマンガ・アニメ・映画に関する対話や文章を読み、日本文化や異文化への理解を深めることができる。</p> <p>②360語程度の伝記の概要を把握しながら読み取り、その人の思いや業績、本当の飢えとは何かなど、自分の意見を持つことができる。</p>

6 本単元と研究テーマとの関わり

(1) 生徒について

本学級の生徒（男子20名、女子20名、計40名）は、90%が英語の学習が楽しい、好きであると考えている。授業中の発言も比較的多く、友だちと協力して活動するチャットやグループ活動にも意欲的に取り組んでいる。全体的に、英語を聞いたり、話したりすることが好きであり、得意でもあると考えている反面、以前は、英語を書いたり、読んだりする活動は苦手と感じていたり、得意ではないと考えている生徒も多かった。また、もっと英語の発音がうまくなって、すらすら話せるようになりたいという思いや、外国の方に話しかけられたときに、とっさに応えられるようになりたいという願いも持っている。

今年の1月上旬に、「将来の夢」をテーマに、自分の夢を英語で書く活動や話す活動をした。その時に、生徒たちは、必要最小限の辞書利用で、既習事項を用いたり、モデル文を参考にしたりして、まとまりのある内容のスピーチ原稿を書くことができた。内容については、単に、事実を並べて書くだけでなく、理由や具体例をナンバリングしながら含めたり、聞き手を意識したユニークな内容を交えたりした発表も見られた。また、発表後の質疑応答やコメントについても、聞き手の生徒が積極的に発言するなど、自然なやり取りが見られるようになってきた。以上のことから、問答ゲームを意識させた帯活動のチャットの効果が表れていると思われる。今後も、4技能を統合的に運用する能力を高めるための言語活動を設定し、生徒たちの目標が達成される指導の必要性を感じている。

(2) 単元について

本単元は、as～asを使った原級比較、副詞の比較級、最上級を使った動作の比較を学習する。また、接続詞ifやbecauseを使って条件や理由を表す表現も学習する。動作の比較を表す文構造を習得することによって、いくつかの中から、自分の好きなものを比較して紹介したり、条件や理由を含めて意見交換したりすることができるようになる。

内容については、登場人物たちが日本のマンガやアニメ、映画を話題にして、世界における日本文化の流行やマンガとcomicsの違い、日本映画が世界に与えた影響について語り合っている場面である。マンガやアニメ、映画は、生徒にとって身近な話題であり、一番興味・関心がある内容でもある。生徒たちの普段の会話の中にも「2.5次元」や「コミケ」などの言葉がよく登場している。本単元の内容は、生徒たちにとっても馴染みがあり、英語での表現活動に生かせるものとなっている。既習表現を使って自分が好きなものを説明させたり、意見交換をさせたりすることによって、自分の英語表現に対する自信を持たせるとともに、表現力を高めさ

せる活動になるよう工夫したい。

(3) 指導について

単元全体を通して、内容を読んで理解する外国語理解の能力、自分と関連する内容について英語で話したり、説明したり、書いたりする外国語表現の能力を高めたいと考えている。自分に関連する内容や経験したことを表現させると、内容が豊かで充実したものになると考える。そこで、マンガ、アニメなど生徒の関心が強いことをもとに、教科書の内容と照らし合わせながら、まとめた内容を英語で伝えさせたい。また、意見交換をする中で、より思考の深まりを図るために、主語＋動詞が整った文を使って根拠を明らかにしながら述べさせたり、6W1Hを用いて相手に質問させたりしながら話ができるよう心掛けさせたい。

7 評価目標と評価方法

評価目標（観点）	評価方法（視点）
①日本のマンガやアニメについて積極的に自分の意見を述べようとしている。 （コミュニケーションへの関心・意欲・態度） ②自分の好きなマンガやアニメについて説明したり、英文でまとめたりすることができる。 （外国語表現の能力） ③日本のマンガ、アニメ、映画について書かれた内容を読んで理解することができる。 （外国語理解の能力） ④理由を付け加えて意見を述べる、条件を入れて説明する、質問する、動作を比べるなどの表現を理解している。 （言語や文化についての知識・理解）	◎パフォーマンス課題 あなたはコミックマーケットでブースを出し、マンガやアニメの良さを外国人のアニメファンに紹介したり、意見交換したりすることになりました。日本のアニメやマンガの魅力が伝わるように、表現を工夫したり、具体例を示したりしながら紹介しなさい。（評価目標①②④） ○観察（評価目標の①） ○ワークシート（評価目標の②③④）

8 指導計画（全6時間）

学習内容	評価規準（観点）	時間
○原級による比較の文構造を理解し、それを使って表現する。 ○副詞の比較級、最上級を含む文構造を理解し、それを使って表現する。 ○接続詞 if, because を含む文構造を理解し、それを使って表現する。	◇原級による比較の文構造を理解し、正しく使用できている。（知識・理解） ◇副詞の比較級、最上級を含む文構造を理解し、正しく使用できている。（知識・理解） ◇接続詞 if, because を含む文構造を理解し、正しく使用できている。（知識・理解）	3
○日本のマンガやアニメについて書いているメールの内容を理解する。 ○manga と comics の違いについて対話をしている内容を読み、自分の好きなアニメやマンガを説明したり、意見を述べたりする。 ○日本の映画についての内容を読み、日本の映画が世界に与えた影響について理解する。	◇日本のアニメやマンガについて積極的に意見や感想を述べようとしている。（関心・意欲・態度） ◇パリでマノンがどのように日本のマンガやアニメを楽しんでいるかを理解している。（理解） ◇manga と comics の違いを読み取り、説明することができる。（理解） ◇内容に関連のある話題で話をしたり、意見や感想を友だちと述べ合ったりすることができる。（表現）	3 本時 (その2)

9 本時の指導（5/6時間）

(1) 主 題 対話の内容を理解し、自分の好きなマンガやアニメについて説明したり、意見・感想を述べ合ったりしよう。

(2) ねらい

○manga と comics の違いを読み取り、内容を説明することができる。

○自分の好きなアニメやマンガを説明したり、意見や感想を述べ合ったりすることができる。

(3) 展 開

学習活動(形態)	時間	○教師の働きかけ・予想される生徒の反応	○指導の工夫 ◇評価(方法)
1 前時の復習を兼ねフランスで行われた Japan Expo の映像を見る。 (一斉)	8	○What do you think about the report? ・ There are many foreign people there. So I think many foreigners are interested in Japanese manga and anime. ・ I don't know Japanese manga and anime are so popular.	○映像を見て自由に感想を述べることで、前時の内容を振り返らせるとともに、本文内容について興味を持たせる。
2 本文の内容を理解する。(個人) ↓ (一斉) ↓ (ペア)	18	○本文には表れていないMs. AllenとMikuのつづきを想像しよう。 ○音読練習をしよう。 ○対話の内容を英語で説明しよう。 ・ Ms. Allen is talking about anime and manga with Miku. Ms. Allen likes anime. She likes "ONE PIECE" the best.	○内容を踏まえて、本文に書かれてない部分を想像させることによって、より深く読み取らせる。 ◇manga と comics の違いを読み取り、内容を説明できているか。(ワークシート)
3 自分の好きなアニメやマンガを紹介し合う。 (グループ) ↓ (一斉)	20	○自分の好きなマンガやアニメを紹介し合おう。 ・ I'm going to talk about CONAN. This is a story of a detective. He is a high school student, but he looks like an elementary school student now. He is clever and cute. He can always solve a difficult problem. I like reading manga and watching anime on TV. Why don't you read CONAN? I'm sure you enjoy it.	◇自分の好きなマンガやアニメを説明したり、意見や感想を述べ合ったりすることができるか。(観察) ○主語＋動詞が整った文を使って根拠を明らかにしながら述べさせたり、6W1Hを用いて質問させたりして、相互の考えを深めさせる。
4 学習内容を振り返る。(個人)	4	○意見交換した活動について振り返ろう。 ・既習表現使って、自分の意見や感想を即興で述べることができた。 ・単語が分からなくて、自分の考えが言えなかった。 ・英語を書いたり話したりすることに対する苦手意識が減った。	○本時の活動を振り返らせることで、次時への意欲を持たせる。
授業研究の視点	○主語＋動詞が整った文を使って根拠を明らかにしながら述べさせたり、6W1Hを意識した内容理解や意見交換をさせたりする活動は、論理的思考を高めるものであったか。 ○意見交換する活動は、すべての生徒が主体的に学び、表現力を高められるものであったか。		